

## 議会報告会の質疑応答概要（教育環境委員会）

NO	質疑応答の要旨	
1	Q	<p>民間等プール利用事業と請願第10号「市民プールの設置を求めるについての請願」は、関連性があるのでしょうか。</p> <p>また、請願の内容を伺います。それに使う金額はどれくらい必要だったのでしょうか。</p>
	A	<p>事業内容は、市民プールが昭和50年に開設以来35年が経過して、さまざまな老朽化や不等沈下により、使用できない状況になりました。その中でやむを得ず廃止になったことに伴い、市民プールが担ってきました役割を、小中学校のプール開放事業や、民間等プール利用事業、さらに「エンゼル・ドーム」の親水広場の整備へかえて行ってきました。よってこの事業は、市民プールと関係のある事業です。</p> <p>請願の内容は、「1年中使える市民プールを設置してほしい」という請願です。費用は、請願内容にも費用は出ていませんし、費用の試算も教育委員会でもしていません。ただ、近隣のプールを見てみますと、7億円～十数億円で温水プールをつくっているようです。また、請願の採決は賛成少数で不採択となっております。（卯月委員）</p>
2	Q	<p>児童・生徒の不登校問題について、不登校が今、日本全体で問題になっています。いじめ問題との関連があるのかどうか。また、その意味での調査などの報告があると分かりやすいのではなかったかと思えます。</p>
	A	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。確かに不登校問題は大事な問題であると思っています。最近では、虐待または、いじめ問題も合わせて、多発しています。私どもは委員という立場で、さまざまな質疑を行い、答弁をいただいています。この報告について統計的に数字を出せず申し訳ないと思ったところです。</p> <p>次回以降、関連事業や関する数字も説明する際、表現していきたいと思っています。今回は、反省事項としてご意見をいただいたと思います。ありがとうございました。（栗原委員）</p>
3	Q	<p>請願について伺います。「小中学校への普通教室にエアコンの設置」について、学校のエアコンは、子どもたちの学ぶ場所として40℃近くになる教室で、勉強をする環境でないところに、毎日子どもたちが通っていて、今の時代でエアコンが全くない場所があるということ自体が、今の時代に合いません。今後ますます暑くなることも考えられますし、とてもいい環境とは思えません。</p> <p>議員が賛成をしなかったことに驚いており、良い環境をつくってほしいと思っています。その件について伺います。</p>
	A	<p>請願2件「エアコンの設置」に関しては、今回の議会において、現在は大地震が発生したときに、子どもたちの命を守るため、学校施設の耐震化を最優先で進めさせていただいております。エアコンの整備は、小中学校から要望の多い音楽室や図書室等の特別教室への整備を行っております。総合振興計画でも平成29年度を整備目標として進めさせていただいております。</p> <p>本年の9月議会では、普通教室のエアコンの整備について請願が2件ありました。いずれも審議の結果、「不採択」ということで採決されました。学校施設は、老朽化など多くの課題をかかえておりますので、長寿命化計画の策定の中で普通教室のエアコンの整備についても、考えると聞いております。（栄委員）</p>

NO	質疑応答の要旨	
4	Q	<p>請願について伺います。「春日部駅東西通路の設置を求めるについての請願」で、西口から東口へ移動するのに、「140円を払わないと移動できない」という場所が市内にあるということが、異常ではないかと思っています。「鉄道高架化が進めば全部解決する」と議会の答弁でもありましたが、早くお金を払わなくても、行き来ができるようにしてほしいというのが市民の願いなんです。議員の方たちが賛成をされなかったということが驚きで、よい環境をつくってほしいと思っています。この件について、説明をいただきたいと思ひます。</p>
	A	<p>請願第9号「春日部駅東西通路の設置を求めるについての請願」は、10月26日に開催した議会報告会の建設委員会所管分の内容です。後日、ホームページ等で、内容については確認ができます。本会議や常任委員会の質疑等については、議事録等にも掲載しておりますので、後日ご報告をさせていただく予定です。よろしくお祈ひします。(五十嵐委員長)</p>
5	Q	<p>学校の空き教室について伺ひます。隣の宮代町は、公民館活動かどうか不明ですが、我々一般の年寄りが集まって空き教室で事業を行っているようです。その際、児童生徒とも触れ合っているようなことを聞いております。</p> <p>春日部市でも各学校に空き教室がたくさんあると聞いております。空き教室の活用方法について伺ひます。何とか空き教室を活用した事業の実施をお願いします。</p>
	A	<p>現在、空き教室がいくつあるかについては、把握をしていません。</p> <p>本市では「放課後子ども教室」が開かれており、地域の人たちが子どもにさまざまなことを教えて、教育効果も生まれ、また地域の人たちも活気づく事業を行っています。空き教室に地域の人たちも参画をし、空き教室の活用していく方法は、よいご意見だと思いますので、教育環境委員会としても、貴重なご意見として、執行部に働きをかけ、よい方法となるように取り組んでいきたいと思ひます。(五十嵐委員長)</p>